

## 学習内容報告書 フォーマット

|     |                 |
|-----|-----------------|
| 学校名 | 山形県鶴岡市立大山小学校    |
| 授業者 | 1年担任 渡邊 恵 荒木美佐子 |

### 1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

#### 1-1. 単元名

山形県鶴岡市立大山小学校

#### 1-2. 学年

1年

#### 1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

生活科

#### 1-4. 単元の概要

本校として、海の学習を1～6年まで全学年対象として実施している。

1年生段階としては、生活科、道徳と関連を図り計画した。

総合的な学習の時間のように、課題を設定し、解決活動をすることは難しいため、海に触れる入り口として、内容を検討。

幸いにも、学区内に「クラゲドリーム館」（鶴岡市立加茂水族館）があるため、水族館との連携を図り単元づくりを行った。

#### 1-5. 単元設定の理由・ねらい

加茂水族館見学活動を通して、海の生物に触れることを通して、海の不思議さや多様性について、興味や関心を高める。

#### 1-6. 育みたい資質や能力、態度

知識・技能=海にはたくさんの生き物が生きていることを知る。

思考力・判断力・表現力=見学を通して知ったこと、わかったこと、不思議に思ったことを自分なりに表現の仕方を工夫してまとめることができる。

学びに向かう人間性=興味や関心を持ちながら、活動に取り組もうとする。

見学を通して、海の生き物のおもしろさや不思議を感じることができる。

1-7. 単元の展開（全8時間）※教科横断的単元として実施

| 時数          | 学習活動・主な内容  | ◆教師の指導 /◇ 主な評価<br>■外部連携 /□使用教材等  |
|-------------|--|--|
| 1           | 生活科<br>○活動オリエンテーション<br>・活動のめあての確認<br>・活動内容を知る                      | ◆ねらいを理解させる<br>→単に見学に行くだけでなく、「発見」をしてくる<br>ということがめあてであることを児童が理解した上で見学に臨めるように指導 |
| 2<br>～<br>5 | 生活科・図工<br>○クラゲドリーム館（加茂水族館）見学<br>・校外学習として実施<br>・一般の来場者と同様に水槽やショーの見学 | ■クラゲドリーム館施設案内ボランティア<br>→各水槽の生き物の説明をしてくださる方からの<br>支援をいただいた。                   |
| 6<br>7      | 生活科<br>○見学のまとめ<br>・絵と文で、体験をまとめた。<br>・自分が見つけたことがわかるようにワークシートを活用     | ◇見学を通して知ったこと、わかったこと、不思議に思ったことを自分なりに表現の仕方を工夫してまとめることができたか                     |
| 8           | 生活科<br>○体験発表<br>・自分がまとめたシートを使って、発表                                 | ◇相手に伝わるように話すことができたか？   |

## 2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

### 2-1. 単元における位置づけ

単元 8 時間中の 2~5 時間目 見学学習

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

### 2-2. 本時の目標

見学活動を通して、海にはたくさんの生き物が生きていることを知る。

### 2-3. 本時の展開

| 主な学習活動 / ○反応  | 教師の指導・支援 / ◇ 評価の視点（方法）  |
|---|---|
| 1 学校発→バス移動  |   |
| 2 会場着   |   |
| 3 見学活動開始<br>○すでに数回来館している児童が多数であったが、ガイドボランティアさんの説明を聞きながらの見学は初めてで、より詳しく一つ一つの生き物の特徴についての説明に興味を高めていた。 | 教師は、活動の見守り、児童のつぶやきを拾い、興味や関心が高まるように関わる<br><br>■加茂水族館ガイドボランティアの方からついていただき、説明をしていただいた。 |
| 4 見学終了  |   |
| 5 水族館発→バス移動   |   |

### 3. 今回の活動の自己評価

#### 成果○課題▼

- 生き物の面白さを感じるだけでなく、地域の中に誇れる場所があることも実感できる活動になった。
- 2年生の活動までの流れを確認したことで、ねらいが焦点化された。

### 4. 今後の課題

- ・持続可能な活動にしていくための仕組み作りをおこなっていくこと（すべての活動に共通する課題であり、取り組むべきこと）

### 5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

- ・活動の実践としては、いわゆる校外学習的な活動ではあるが、前述のとおり、1年生の海の学習として位置付けた活動となるので、他学年の実践と合わせて見ていただくことが必要。

※実施した単元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書\_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書\_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。